

畫

下

遊

樂

【一】奥平俊六美術史論集

【二】奥平俊六先生退職記念論文集

琳派・狩野派・風俗画をはじめとする近世絵画から

現代のアウトサイダーアートまで

日本美術史研究に新たな視座を拓く著作集と

大阪大学で教えた二十八名による論文集二冊組



藝華書院

茨木市史

上杉本

大阪大学出版会

画中画

加藤文麗

カブキモノ

寛文美人

清水寺

金閣寺

金銀泥絵

孔雀明王

蜷子

江阿弥

講談社

光琳

呉春

國華

古美術

四条河原

自閉症

小学館

山楽山雪山水帖

実相院

四暢図

若冲

集英社

宗達

大英博物館

探幽

陳搏

辻惟雄

東京大学出版会

南蛮屏風

日本美術工芸

野々村信武

彦根屏風

風流踊

舟木本

平凡社

布袋

待兼山論叢

文使い図

フィラデルフィア美術館

フリーア美術館

蘆雪

洛外図

大和文華

山根有三

琳派

*

池大雅

大下藤次郎

大月光興

鶴亭

片山昭弘

加藤清正

狩野山雪

狩野言信

初期歌舞伎

河鍋暁斎

唐金興隆

岸駒

祇園祭礼

岸田劉生

乾山焼

重油富士

松花堂昭乘

酒伝童子絵巻

晴川院養信

生活社

染織史学

雪村

相阿弥

草堂寺名画保存会

高田敬輔

谷口香嶠

東山清音帖

富岡鉄斎

白梅図

原田直次郎

松本山雪

明要寺

祐清邦信

柳下童子

両面屏風

連歌帖図

和田隆侯

渡辺玄対

内容目次

◆奥平俊六著『画下遊楽』(一)奥平俊六美術史論集

- 1 彦根屏風について—(鏡像関係)と(画中画)の問題を中心に—
- 2 文使い図攷—プリンストン大学付属美術館所蔵『文使い図』を中心に—
- 3 うしろ姿の「かぶき者」
- 4 存允白(呉春)筆「四暢図」
- 5 金地と黒白—近世絵画の背地表現
- 6 遊楽図二題「清水寺遊楽図」「春秋遊楽図」
- 7 狩野山雪筆「洛外図」について
- 8 狩野探幽筆「春日若宮御祭図屏風」
- 9 四条河原納涼図
- 10 「山楽山雪山水帖」について
- 11 縁先の美人—寛文美人図の一姿型をめぐって
- 12 加藤文麗と野々村信武
- 13 蕪村の金屏・銀屏
- 14 ミヤコの残像—上杉家本「洛中洛外図」
- 15 風流踊を描く絵画
- 16 宗達の引用法—水墨画を中心に
- 17 光琳「夢」模様
- 18 金閣寺の遊楽
- 19 風俗画における群像表現—主題としての群衆
- 20 美人と犬
- 21 日本の絵画と中国の絵画
- 22 不思議な聖者たち—布袋・蛭子・陳搏
- 23 伊藤若冲筆「鶏図」
- 24 コミュニティ・アート美術部門の活動—アウトサイダー・アートをめぐって
- 25 自閉症の人はなぜ電車が好きなのか—絵画作品を手がかりに—
- 26 江阿弥と若冲
- 27 愛の扇面—「南禅寺扇面屏風」をめぐって—
- 28 書と画が交わるころ—「鶴下絵」と「鹿下絵」の金銀泥—
- 29 フリーア美術館「宗達—創造の波—」展作品解説
- 30 実相院の襖絵について
- 31 美術史の周辺から

◆奥平俊六先生

退職記念論文編集委員会編

『画下遊楽』(二)奥平俊六先生退職記念論文集

- 1 片桐弥生「連歌帖(扇面) (南禅寺蔵)の内容とその制作の周辺
- 2 綿田稔「後北条本酒伝童子絵巻試論—相阿弥の役割—」
- 3 橋本遼太「雪村筆「芙蓉小禽図」についての一考察—団扇から円相への改変をめぐって—」
- 4 寺澤慎吾「明要寺参詣曼荼羅」について
- 5 金子岳史「加藤清正御用絵師・狩野言信について」
- 6 阿部彩子「風俗画に描かれた初期歌舞伎の櫓」
- 7 マシュー・マッケルウェイ「狩野山雪の夜曲」
- 8 門脇むつみ「狩野山雪筆「藤原俊成・定家」為家像」三幅対について—松花堂昭乗との関わり—」
- 9 西田多江「松山藩御用絵師 松本山雪」
- 10 安井雅恵「永青文庫蔵「祇園祭礼図巻」について—都市風俗図としての観点から—」
- 11 梶山博史「乾山焼における版本利用—香合と角皿について—」
- 12 中澤菜見子「高田敬輔の仏画—「八相涅槃図」(滋賀・浄光寺蔵)を中心に—」
- 13 高松良幸「文雅の家系としての食野一統—唐金興隆・和田隆侯を中心に—」
- 14 石沢俊「鶴亭と黄鳥図」
- 15 濱住真有「池大雅筆「柳下童子図屏風」—その魅力と解釈の可能性—」
- 16 大川葉子「池大雅筆「東山清音帖」について」
- 17 中村真菜美「渡辺玄対筆「蕉夢庵景勝図画詩文合巻」(宇土市教育委員会蔵)の制作について」
- 18 安永拓世「呉春筆「白梅図屏風」(逸翁美術館蔵)をめぐって」
- 19 内藤直子「装剣金工・大月光興をめぐる人々—絵師・岸駒との交流を中心に—」
- 20 木下京子「江戸狩野派の源氏絵屏風の展開と両面屏風についての考察—晴川院養信と祐清邦信を中心に—」
- 21 曾田めぐみ「維摩と文殊—河鍋晩斎筆「大和美人図屏風」に込められた寓意—」
- 22 宇野千代子「富岡鉄斎筆「倭武大神御像」(大鳥神社蔵)について」
- 23 川西由里「原田直次郎の絵画指導—大下藤次郎自筆資料にみる晩年の活動—」
- 24 藤本真名美「谷口香嶠の第一回文展における挑戦—「残月山燭図」にみる再現性と装飾性—」
- 25 宮本久宣「岸田劉生の生活社時代」
- 26 澤田和人「商品展開から見た近代女性の服飾—染織史学形成の時代背景を探る—」
- 27 袴田舞「昭和初期における応挙・蘆雪画の保存運動と画家たち—草堂寺名画保存会関係資料の紹介—」
- 28 鈴木寛和「片山昭弘『重油富士』(日本列島シリーズ)」について



●奥平俊六(おくだいら・しゅんろく)1953年愛媛県に生れる。東京大学文学部卒、同大学院人文科学研究科博士課程単位修得退学。國華社研究員、大阪府立大学総合科学部専任講師、大阪大学文学部助教を経て教授。京都国立博物館客員研究員、大和文華館評議員など。著書・『屏風をひらくとき』(阪大出版会)、『俵屋宗達』(新潮社)、『舟木本・洛中洛外図—町のにぎわいが聞こえる—』(小学館)、『彦根屏風—無言劇の演出—』(平凡社)、『新編名宝日本の美術25 洛中洛外図と南蛮屏風』(小学館)、『懷徳堂ゆかりの絵画—編共著、阪大出版会)、『桃山時代の美術』(編共著、東京美術、琳派美術館)、『光琳と上方琳派』(編共著、集英社)など

画下遊楽

- 奥平俊六美術史論集
- 奥平俊六先生退職記念論文集

奥平俊六・奥平俊六先生退職記念論文集 編集委員会=編著

定価:本体20,000円+税
並製 箱入り 分売不可
各冊760ページ

ISBN 978-4-904706-07-7 C3070

2018年
3月刊行

お客様各位 弊社は直販のみの販売システムです。ホームページ・メール・ファックス・電話・はがき等で直接ご注文ください。振込用紙同封の上、商品をお送りします。また、書店にご注文される場合、書店様から弊社へ連絡いただけますよう、お伝えください。

書店様各位 弊社は直販のみの販売システムです。ご注文の場合、ホームページ・メール・ファックス・電話にてお問い合わせください。条件等ご連絡の上、納品させていただきます。

お取扱書店	<p>株式会社 藝華書院</p> <p>〒731-0231 広島県広島市安佐北区亀山7-7-32 Tel:082-812-2686 Fax:082-847-2644 E-mail: info@geika.co.jp http://www.geika.co.jp</p>
-------	---

注文書